

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 日本サード・パーティ株式会社

コード番号 2488 URL <http://www.itp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当

(氏名) 高島 隆明

TEL 03-6408-2488

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,205	0.4	△56	—	△53	—	△41	—
26年3月期第2四半期	2,196	△2.8	17	△58.2	21	△42.5	△15	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △36百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △14百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△8.06	—	—	—
26年3月期第2四半期	△2.96	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
27年3月期第2四半期	2,632	1,644	1,644	1,733	62.5	317.15	317.15	
26年3月期	2,807	1,733	1,733	1,733	61.7	334.26	334.26	

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,644百万円 26年3月期 1,733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,900	4.1	200	145.8	200	123.0	105	603.8	20.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	6,015,600 株	26年3月期	6,015,600 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	830,141 株	26年3月期	830,141 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	5,185,459 株	26年3月期2Q	5,185,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げによる影響が一部見られるものの、円安や株高を背景に企業収益は大企業を中心に改善傾向にあり、情報システムへの投資意欲の高い状態が続いております。そのような状況下において、当社グループは、平成25年6月に「当社グループ2013～2017年度中期事業計画」を策定し、新規事業による売上高の成長を前提とした利益成長計画を開始しましたが、当社グループを取り巻く環境の変化などにより、平成26年6月30日に開示の通り中期事業計画を改定（2015年3月期～2017年3月期、以下「新中期事業計画」とする）致しました。新中期事業計画の3カ年においては、既存事業で得た利益を新規事業への投資にまわす運営方針に変更はないものの、「過度に売上高の拡大をはからず、単年度で着実に利益を生み出すマネジメントの定着」を基本方針とし、安定的な利益の創出を優先した経営を行ってまいります。そのために、ITサービスがハードウェア主体からクラウド型のサービス主体へ移行する市場ニーズに沿い、当社グループにおける従来のハードウェア事業（事業セグメントではフィールド・ソリューション事業、ハードウェア・ソリューション事業）から、「ITスキルアセスメントテストG A I T（ゲイト）」、「ソーシャルメディアキュレーションサービスWay in（ウェイイン）」及び「クラウド」、「ビッグデータ」、「データサイエンティスト」等の教育事業をはじめとしたソフトウェア事業（事業セグメントではソフトウェア・ソリューション事業）へと主力事業の転換をはかっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,205,432千円（前年同期比0.4%増）となりました。利益面では、当第2四半期連結会計期間で、19,815千円の営業利益を計上したものの、第1四半期連結累計期間までの損失分をカバーするには至らず、当第2四半期連結累計期間では56,647千円の営業損失（前年同期は17,047千円の営業利益）となりました。営業外収益として為替差益2,227千円、受取補償金1,546千円を計上した結果、53,068千円の経常損失（前年同期は21,419千円の経常利益）、さらに特別利益として平成26年4月26日に当社代表取締役会長であった森和昭の逝去に伴う受取保険金70,000千円の計上、特別損失として弔慰金50,000千円を計上したことにより、税金等調整前四半期純損失は38,364千円（前年同期は21,419千円の税金等調整前四半期純利益）、四半期純損失は41,841千円（前年同期は15,371千円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次の通りであります。

① ソフトウェア・ソリューション事業

ITエンジニアに対するクラウド技術の基盤となる要素技術等の教育や、ビッグデータ・データサイエンティストの教育を行う教育部門、同様にITエンジニアやITユーザに対して電話、メール等にて技術支援を行うヘルプデスク・コールセンタ部門、国内ITユーザ企業に対してビッグデータ等を活用したシステムの開発・運用支援を行うシステム開発部門、世界標準のITスキルアセスメントテスト「G A I T」推進部門、米国サン・マイクロシステムズ社の共同創設者スコット・マクネリ氏が立ち上げた「Way in」推進部門で構成されております。教育部門はセキュリティソリューション大手「Symantec」社とエンドユーザ向けトレーニングコースデリバリ契約の締結やビッグデータ関連事業の積極的な営業展開、及び今期で4期連続の受注となる総務省からの委託事業「地域における高度ICT人材の継続的な育成方策等に係る調査研究」の落札等により、前年同期比で売上高は増加となったものの、教室拡張に伴う家賃負担の増加により営業利益は前年同期比で減少致しました。今後も引き続き市場ニーズの高いビッグデータ関連事業に注力し、より多くの「データサイエンティスト」を育成することにより、ITを利活用するすべての業界の発展に寄与してまいります。ヘルプデスク・コールセンタ部門は一部ベンダーからの既存の受託業務の終了により、前年同期比で売上高、営業利益ともに減少致しました。なかでもクラウド技術の基盤となる要素技術の一つである仮想化技術のヘルプデスク業務とコンシューマ向けネットワーク製品のコールセンタ業務の比重が高い状態が続いており、今後は第3の柱となる新たな業務の受注に注力致します。システム開発部門は半導体メーカーの業務委託先の見直しという逆境の中、積極的に営業活動を行った結果、業務受託量が増加し前年同期比で売上高、営業利益ともに増加致しました。今後も引き続き業務拡大をはかってまいります。G A I T推進部門は、国内販売代理店6社と販売代理店契約を締結し、それらの代理店とともに営業活動を行った結果、当第2四半期連結累計期間の受験者数が49社3,959人と前年同期比で大幅に増加し、売上高も増加致しました。今後は、国内の普及は勿論のこと、ASEAN、南アジアを含めた海外での普及をはかってまいります。最後にWay in推進部門は「WOWOWの国内音楽フェス番組特設サイト」、「一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会のキャンペーンサイトJAPAN SHOPPING FESTIVAL 2014 SUMMER」、「TBSテレビの恋愛バラエティ番組「恋んトス」公式ホームページ」、「ABC人気番組「熱闘甲子園」の公式Webサイト」、「音楽フェスティバル「Summer Sonic 2014」の公式Webサイトおよび会場スクリーン」等での導入により、前年同期比で売上高が増加致しました。今後も同様の形態での利用拡大をはかると共に、付帯サービスを充実させソーシャルメディアマーケティングツールの絶対的な地位確立を目指します。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,060,786千円（前年同期比7.5%増）、セグメント利益は69,768千円（前年同期比5.1%減）となりました。

② フィールド・ソリューション事業

クラウドを含むコンピュータシステムの運用・保守を中心に行うコンピュータ・システムサポート部門、ITが応用的に使われている医療機器、化学分析装置、放射能検査機器などの保守を行うIT応用システム・サポート部門で構成されております。コンピュータ・システムサポート部門は、一部ベンダーからの既存業務の終了により、前年同期比で売上高、営業利益ともに減少致しましたが、国内S I e r企業に対するシステム運用・保守業務の営業を重点的に行った結果、数社が受注に至り業務を開始しております。今後も引き続き営業を強化し、エンジニアの稼働率を高く維持することで利益の確保をはかります。IT応用システム・サポート部門も、一部ベンダーからの既存業務の終了や業務受託量の減少により、前年同期比で売上高、営業利益ともに減少致しましたが、エンジニアの適正配置により営業利益は確保致しました。今後は、これまで中心であった医療分野、化学分析分野における海外ベンダーのサポートだけではなく、世界的にもその品質が高く評価されている国内ベンダーに対しても事業領域の拡大をはかってまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は758,263千円(同16.3%減)、セグメント利益は100,039千円(同35.9%減)となりました。

③ ハードウェア・ソリューション事業

コンピュータシステムの製造支援を中心に行うインテグレーション・サポート部門、コンピュータシステム及びIT応用機器の修理等を中心に行うリペアセンタ部門で構成されております。インテグレーション・サポート部門は、新規の業務受託や事業の立ち上げにより前年同期比で売上高は増加しましたが、業務受託量の変動が激しく営業利益は前年同期比で減少致しました。今後は、急な業務受託量の増減に対する適正な要員配置に重点をおき、利益の確保をはかります。リペアセンタ部門は、業務受託量の増加により前年同期比で売上高、営業利益ともに増加致しました。今後も引き続き営業活動を強化し、業務の拡大をはかります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は386,155千円(同27.3%増)、セグメント利益は24,919千円(同3.1%減)となりました。

④ その他

海外における「データエントリー事業」で構成されており、当第2四半期連結累計期間の売上高は226千円(同12.3%減)、セグメント損失は6,657千円(前年同期は5,813千円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比し175,036千円減少し2,632,139千円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末と比し166,042千円減少し1,852,458千円となりました。これは主に、売上高の減少に伴う受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比し8,993千円減少し779,680千円となりました。これは主に、減価償却費の計上による有形固定資産、無形固定資産の減少によるものであります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比し86,335千円減少し987,535千円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末と比し89,469千円減少し602,291千円となりました。これは主に、買掛金の減少によるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末と比し3,133千円増加し385,243千円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比し88,700千円減少し1,644,603千円となりました。これは主に、剰余金の配当及び四半期純損失の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月15日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	845,997	871,435
受取手形及び売掛金	960,756	760,224
商品	30,354	27,452
仕掛品	—	24,104
原材料及び貯蔵品	13,437	7,278
その他	186,143	176,336
貸倒引当金	△18,189	△14,374
流動資産合計	2,018,500	1,852,458
固定資産		
有形固定資産	181,793	174,576
無形固定資産	202,752	183,315
投資その他の資産		
その他	408,033	424,709
貸倒引当金	△3,905	△2,920
投資その他の資産合計	404,128	421,788
固定資産合計	788,674	779,680
資産合計	2,807,175	2,632,139
負債の部		
流動負債		
買掛金	170,561	83,727
未払法人税等	34,073	21,726
賞与引当金	128,421	157,002
役員賞与引当金	—	9,000
その他	358,704	330,835
流動負債合計	691,760	602,291
固定負債		
退職給付に係る負債	350,353	358,296
その他	31,756	26,947
固定負債合計	382,110	385,243
負債合計	1,073,870	987,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	795,475	795,475
資本剰余金	647,175	647,175
利益剰余金	736,687	642,990
自己株式	△422,043	△422,043
株主資本合計	1,757,293	1,663,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,240	1,303
為替換算調整勘定	△8,471	△8,505
退職給付に係る調整累計額	△14,276	△11,790
その他の包括利益累計額合計	△23,988	△18,993
純資産合計	1,733,304	1,644,603
負債純資産合計	2,807,175	2,632,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,196,926	2,205,432
売上原価	1,849,786	1,946,367
売上総利益	347,140	259,064
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	62,860	87,873
賞与引当金繰入額	11,155	8,800
役員賞与引当金繰入額	9,000	9,000
退職給付費用	1,676	2,700
支払手数料	54,161	66,823
その他	191,239	140,514
販売費及び一般管理費合計	330,092	315,712
営業利益又は営業損失(△)	17,047	△56,647
営業外収益		
受取利息	67	63
保険配当金	2,416	—
受取補償金	—	1,546
為替差益	2,422	2,227
その他	95	163
営業外収益合計	5,002	4,001
営業外費用		
支払利息	625	416
その他	4	4
営業外費用合計	630	421
経常利益又は経常損失(△)	21,419	△53,068
特別利益		
受取保険金	—	70,000
特別利益合計	—	70,000
特別損失		
弔慰金	—	50,000
社葬費用	—	5,296
特別損失合計	—	55,296
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	21,419	△38,364
法人税、住民税及び事業税	4,170	15,917
過年度法人税等	14,425	—
法人税等調整額	18,195	△12,440
法人税等合計	36,791	3,477
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△15,371	△41,841
四半期純損失(△)	△15,371	△41,841

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△15,371	△41,841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	2,543
為替換算調整勘定	330	△34
退職給付に係る調整額	804	2,486
その他の包括利益合計	1,135	4,995
四半期包括利益	△14,236	△36,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14,236	△36,846
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	21,419	△38,364
減価償却費	44,095	61,741
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△57,512	△4,800
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,581	28,580
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,125	7,943
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	1,080	9,000
受取保険金	—	△70,000
弔慰金	—	50,000
受取利息	△67	△63
支払利息	625	416
売上債権の増減額(△は増加)	160,851	200,236
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14,934	△15,043
仕入債務の増減額(△は減少)	△140,519	△86,833
前受金の増減額(△は減少)	18,066	8,332
未払消費税等の増減額(△は減少)	9,318	43,235
その他	△26,560	41,329
小計	13,406	235,709
利息の受取額	66	63
利息の支払額	△625	△416
保険金の受取額	—	70,000
弔慰金の支払額	—	△50,000
法人税等の支払額	△28,999	△27,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	△16,151	227,815
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△32,662	△42,168
無形固定資産の取得による支出	△47,651	△71,146
差入保証金の差入による支出	△3,267	△25,859
差入保証金の回収による収入	2,204	159
貸付けによる支出	△9,640	△3,384
貸付金の回収による収入	4,586	7,821
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,430	△134,577
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△102,737	△51,494
長期未払金の返済による支出	△16,479	△16,332
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△501	△1,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,717	△68,943
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,208	1,266
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△221,091	25,560
現金及び現金同等物の期首残高	1,165,164	845,469
現金及び現金同等物の四半期末残高	944,072	871,030

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。